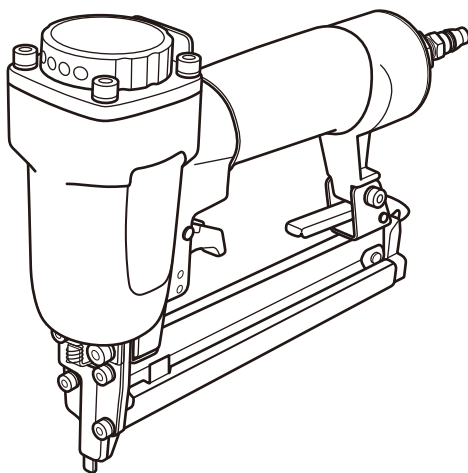


空気圧式ステープル打機

品番 AT-1025PA

エアタツカ

各部の名称と機能	2~3
本体各部	2~3
付属品	2~3
安全上のご注意	4~9
ご使用前の警告	4~5
ご使用前の注意	6
ご使用中の警告	6~7
ご使用中の注意	8
ご使用後の警告	9
ご使用後の注意	9
ご使用前に	10~13
安全点検	10~11
ステープルの装填	12
注油について	13
使用方法	14~15
使用方法	14
終了手順	15
使用するにあたって	16~17
ステープル詰まりの直し方	16
排気口調節ダイヤルについて	17
保守と点検	18
作業後のお手入れ	18
注油について	18
保管について	18
故障かな?と思ったら	19
仕様	20



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびはエアタツカをお買い求めいただき、ありがとうございます。

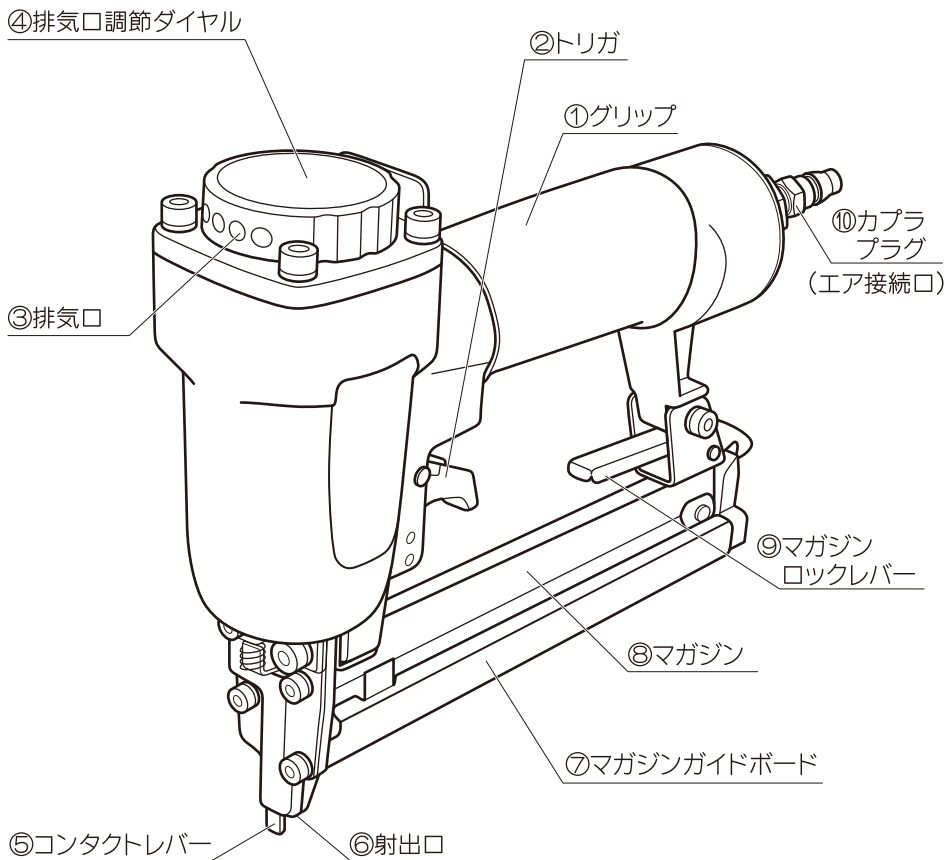
この商品は、コンプレッサで圧縮された空気を使い、効率よくステープルを打ち込むことができる工具です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社(下記・裏表紙記載)にご連絡ください。



各部の名称と機能

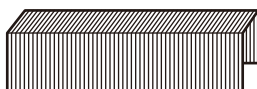
■ 本体各部



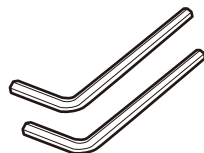
■ 付属品



⑪ オイルポット



⑫ ステープル



⑬ 六角棒レンチ3・4mm

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	グリップ	作業時の保持部です。すべりにくいソフトラバー付です。
②	トリガ	コンタクトレバーを対象物に押し付け、ここを引くとステープルが射出されます。
③	排気口	エアの排出口です。
④	排気口調節ダイヤル	排気口の向きを調節できます。
⑤	コンタクトレバー	ここを対象物に押し付け、トリガを引くとステープルが射出されます。
⑥	射出口	ステープルが射出されます。
⑦	マガジンガイドボード	内部のスプリングで、ステープルを射出位置に調節します。
⑧	マガジン	中にステープルを装填します。
⑨	マガジンロックレバー	マガジンガイドボードを固定します。
⑩	カプラプラグ	カプラプラグです。エアホースを接続し、圧縮空気を本体へ供給します。

各部の名称

安全上の注意

使用前の準備

使いかた

その他

No.	名 称	機 能
⑪	オイルポット	機械油です。作業終了時に毎回注油してください。
⑫	ステープル	肩幅10mm・脚長25mm 100本入り
⑬	六角棒レンチ(3mm・4mm)	各部取付ねじの締め直しに使用します。



安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

⚠ 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

ご使用前の⚠ 警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



ステープルを木材や同等材料に打ち込むことのみを使用する。

・指定用途以外へのご使用は、重大な事故の原因となります。



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- 足場が水平で、安定している場所
- 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片づいた場所
- 子どもや、使用者以外が近づかない場所

・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。



分解・改造を行わない。

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



作業員及び作業員付近の人は、サイドが保護された保護メガネ・作業用手袋・防音保護具（耳栓・耳あて等）を着用し、きちんとした服装で行う。

・保護メガネは、作業中に万が一エアタツカが破損した場合や、打ち損じのステープル等の跳ね返りなどから目を保護します。

・作業用手袋は、稼動部分などから手を保護します。

・排気音や排気エアから耳を保護するため、防音保護具を必ず着用してください。

・作業環境に応じて、安全靴・手袋・ヘルメット・防じんマスク等を着用してください。



使用前に本機各部のねじにゆるみがないことを確認する。



圧縮空気以外の動力源は、絶対に使用しない。

・本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とするエア工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素やアセチレン、プロパンガスなど)は絶対に使用しないでください。爆発事故の可能性があります、大変危険です。



エアホースを接続する際は、以下の点に注意する。

- ・トリガに手を掛けない。
- ・コンタクトレバーに触れたり、押し付けた状態にしない。
- ・射出口を身体や人に向けない。



使用前に安全装置の点検を行う。

※本機はコンタクトレバーとトリガの両方を作動させないと、ステーブルが射出されない構造になっています。

ステーブル装填前にエアホースを接続し、下記の事項を確認してください。異常が見られる場合は、そのまま使用せず、お買い求めの販売店が発売元へご連絡ください。

- ・トリガを引いただけで、本体内部で作動音がしないか。
- ・コンタクトレバーを対象物に押し付けただけで、本体内部で作動音がしないか。
- ・エア漏れなどの異常音がしないか。



本機の能力を十分に発揮するために、内径6.5mm以上のホースを使用する。



エアコンプレッサとの配管や接続箇所を確認する。

・確実に接続されていないと、エア漏れを起こし、作業能力の低下を招いたり、使用中にエアホースが外れ、思わぬ事故の原因となります。



本機は大切に取り扱い、誤って落としたり、ぶついたりした時は、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。

- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ・エアホースを引っ張って本機を移動させないでください。破損の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください。

ご使用前の⚠️注意

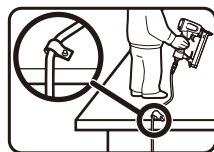
- ❗ 作業場はいつも明るく、きれいにする。
 - ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。

ご使用中の⚠️警告

- ❗ 空気圧力は、0.48 ~ 0.69MPaで使用する。
 - ・0.69MPaを超える圧力で使用すると、本機の破裂や損傷の恐れがあり、危険です。

- ⊘ 無理な姿勢で作業しない。
 - ・常に足もとを安定させ、バランスを保つようにしてください。

- ❗ 高所作業の際は、作業場所の近くに、エアホースの固定箇所を作る。
 - ・不用意にホースが引っ張られたり、引っ掛かったりする危険を防ぎます。



- ❗ 打ち込み箇所、内部配線やガス・水道管などが埋め込まれていないか、必ず確認する。
 - ・埋設物の損傷による感電や、ガス漏れなどの危険があります。

- ⊘ 絶対に、射出口を覗き込まない。
 - ・ステープルが詰まりを起こしても、絶対に射出口を覗き込まないでください。不意に発射した場合、失明や重大な傷害を負う危険があります。



- ⊘ 絶対に、射出口を人に向けたり、身体を射出口に近づけたりしない。
 - ・誤射による事故やけがの原因になります。

- ❗ 近くに人がいないことを確認してから、打ち始める。
 - ・打ち損じのステープルや破片などが当たり、けがの恐れがあります。
 - ・高所作業を行う場合は、下に人がいないことを確認してください。本機や材料を落とした場合、けがの恐れがあります。



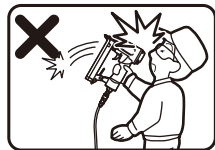
壁の内側、外側から同時に作業を行わない。

- ・ステープルが突き抜けたり、壁際に打ったステープルがそれたりした場合、けがの原因となります。



打ち込み時の反動に注意する。

- ・硬い所に打ち込んだ際に、本機が跳ね返ることがあります。顔などを近づけないでください。
- ・反動によって本機を落とさないよう、確実に保持して作業を行ってください。



打ち込む時以外は、トリガに指をかけない。

- ・トリガに指をかけたまま、持ち運びやステープルの装填・エアホースの脱着などを行わないでください。誤射によるけがの恐れがあります。



次の場合は必ず、エアホースを本機から外す。

- ・ステープルを装填する時、または取り出す時。
- ・ステープルの詰まりを直す時。
- ・本機を持って移動する時や、他者に手渡しする時。
- ・修理や調整、点検整備を行う時。
- ・その他、事故が予想される時。



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がした時は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元まで連絡する。

- ・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



安全上のご注意

必ずお守りください。

ご使用中の⚠️注意



騒音対策を行う。

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
- ・作業に支障をきたさない範囲で、エア圧力を低くしてご使用ください。
- ・必要であれば、遮音壁を設けて作業を行ってください。



ステープルは指定のサイズのものを使用する。

また、ステープル装填数を守って使用する。

- ・指定外のサイズや装填数を超えて使用すると、本機故障やけがの原因になります。



本機及びエアコンプレッサを、エア充填のまま長時間直射日光の当たる場所に、放置しない。

- ・タンク内の圧力が高くなりすぎ、事故の原因になります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

ご使用後の⚠警告



作業後は、必ずエアホースを本機から取り外し、ステープルを抜き取る。

- ・エアコンプレッサを止め、エアホースを本機から取り外してから、ステープルを全部抜き取ってください。
ステープルを残しておく、次回使用時に事故が起こる可能性があります。



定期点検を実施する。

- ・本体や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。

ご使用後の⚠注意



エアコンプレッサのドレン(水)を毎回抜く。

- ・エアコンプレッサで空気を圧縮すると、空気中の水分が凝結し、エアタンクの底や配管内にドレンとなって溜まります。このドレンを毎回点検し、ドレンコックから抜いてください。
これを怠ると、湿気などで本機の腐食や磨耗の原因となります。
詳しくはお使いのエアコンプレッサの取扱説明書をお読みください。



下記の条件を満たす場所で保管する。

- ・雨や水などがかからない、乾燥した場所
- ・子どもや、管理者以外が近づかない場所
- ・直射日光の当たらない場所

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

ご使用前に

ステープル装填前に、エアコンプレッサと接続して、毎回安全点検を行ってください。



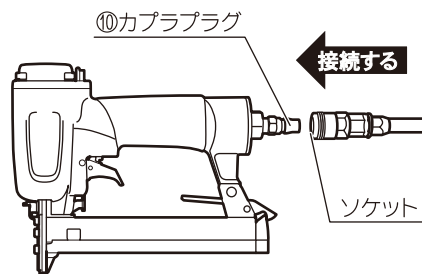
- ・圧縮空気以外の高圧ガス(酸素やアセチレン、プロパンガスなど)は絶対に使用しない。
- ・エアホースを接続する際は、トリガに手を掛けない。
- ・エアホースを接続する際は、コンタクトレバーに触れたり、押し上げた状態にしない。
- ・射出口を身体や人に向けない。

各部の名称

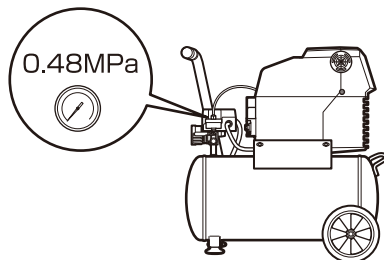
■安全点検

1 エアホースを接続する

- エアホースのソケット部を本機のカプラプラグに接続します。



2 コンプレッサから0.48MPa程度の圧縮空気を送ってください。



安全上のご注意

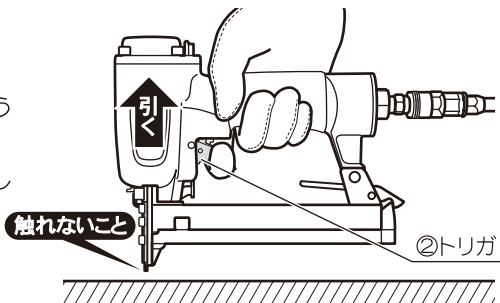
ご使用前の準備

使いかた

その他

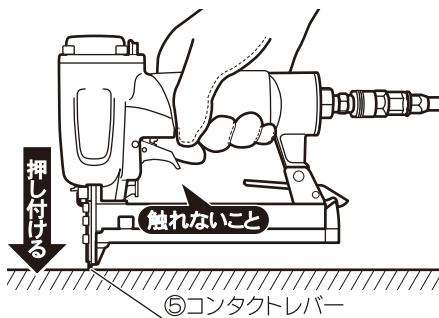
3 トリガを引く

- コンタクトレバーが対象物に触れないようにトリガを引きます。
- 作動音がしないことを確認し、トリガを放してください。



4 コンタクトレバーを打ち込み対象物に押し付ける

- トリガに触れないように、コンタクトレバーを対象物に押し付けます。
- 作動音がしないことを確認し、コンタクトレバーを放してください。

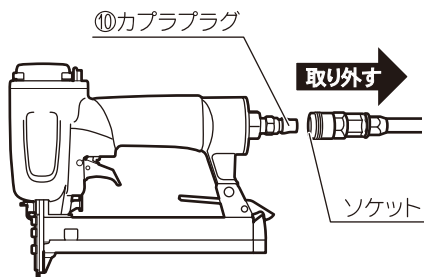


本機はトリガとコンタクトレバーの両方を同時に作動させた時にのみ、ステーブルを打ち出します。

下記の場合には故障の恐れがあります。そのまま使用せず、お買い上げの販売店か発売元へご連絡ください。

- ・トリガを引いただけで本体内部で作動音がある。
- ・コンタクトレバーを押し付けただけで本体内部で作動音がある。
- ・エアホースを接続しただけで、本体内部で作動音がある。
- ・エア漏れなどの異常音がある

5 エアホースを取り外す



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



ご使用前に



ステープルを装填する前に、必ずエアホースを本機から取り外す。



ステープルは必ず指定サイズのものを使用する。
指定以外のものを使用すると、故障やけがの原因になります。



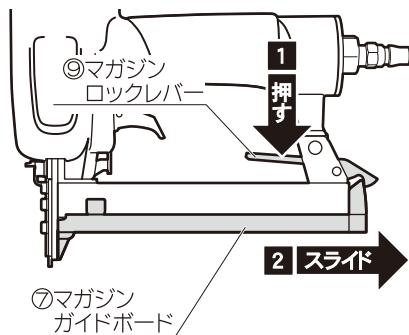
ステープル装填の際は、トリガやコンタクトレバーに触れない。

■ステープルの装填

1

マガジンガイドボードを開ける

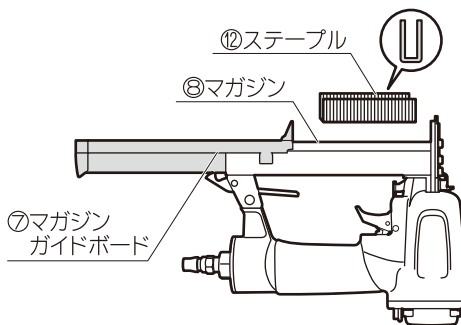
- マガジンロックレバーを押してロックを解除します。マガジンロックレバーを押しながら、マガジンガイドボードをスライドさせて開いてください。



2

ステープルを入れる

- 本体を図の向きにして、マガジンにステープルを図のように入れます。



3

マガジンガイドボードを閉める

- マガジンガイドボードをスライドさせ、『カチツ』と音がしてロックされるまで押し込んでください。



ステープル装填数は100本です。100本を超えて装填しないでください。



使用前は、必ず注油を行ってください。
圧縮空気中の水分で錆が発生し、本機が動かなくなることがあります。

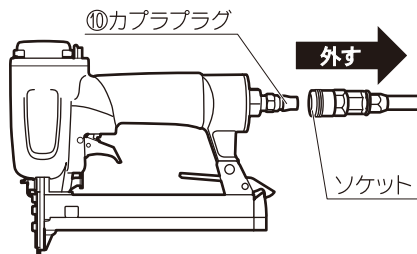


オイルは、本品に付属の専用オイルか、粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度SAE10W、SAE20Wモーターオイルをご使用ください。

■注油について

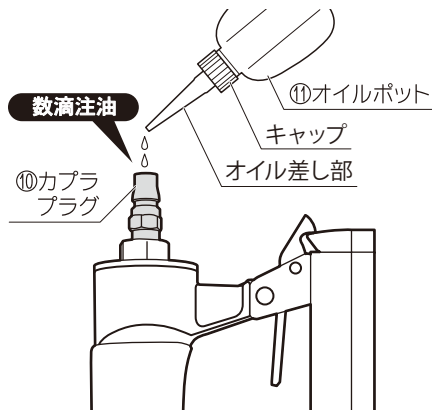
1 エアホースを外す

- エアホースを外します。



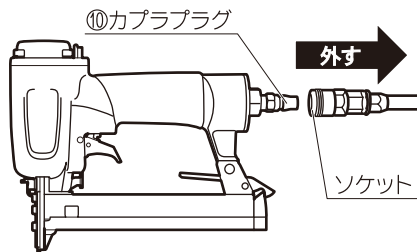
2 オイルを全体に行き渡らせる

- 付属のオイルをカプラプラグから数滴注油します。
- 再度エアホースを接続し、不要な木材等に2~3回空打ちをして、本体内部全体にオイルを行き渡らせてください。
- 初めてオイルポットを使用する際は、キャップを外し、オイル差し部を取り出して先端部をカットしてください。カット後、オイル差し部とキャップを取り付けてご使用ください。



3 エアホースを外す

- 本機からエアホースを外してください。



各部の名称

安全上のご注意

「使用前の準備

使いかた

その他



使用方法



オイルは、本品に付属の専用オイルか、粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度SAE10W、SAE20Wモーターオイルを使用する。



必ず内径6.5mm以上のエアホースを使用する。

コンプレッサは、1.10kW{1.5PS} 以上を推奨します。

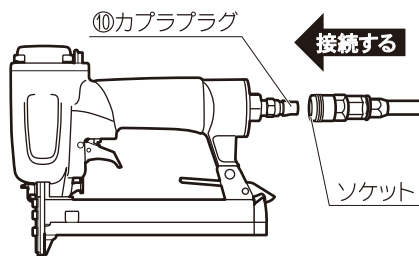
小型のコンプレッサでも使用はできますが、空気が溜まるまで待つ断続的な作業になる可能性があります。

■使用方法

1

エアホースを接続する

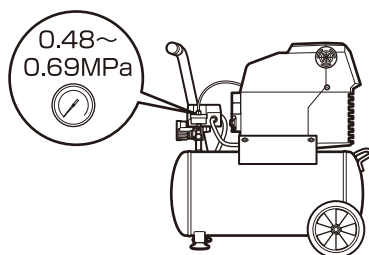
- エアホースのソケット部を本機のカプラプラグに接続します。



2

コンプレッサから圧縮空気を送る

- 圧縮空気の圧力は、0.48MPa程度から始め、必要に応じて徐々に上げてください。



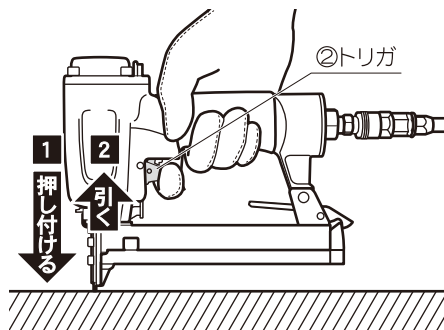
3

ステープルを打ち込む

- 対象物にコンタクトレバーを確実に押し付け、トリガを引いてください。射出口からステープルが発射されます。



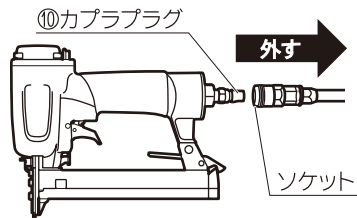
射出時に反動が本機に伝わるため、確実に保持してください。



■終了手順

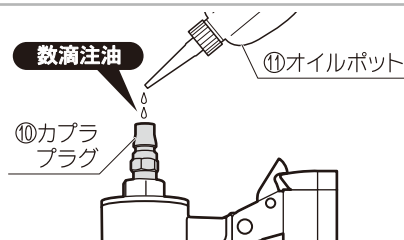
1 エアホースを外す

- エアホースを外します。



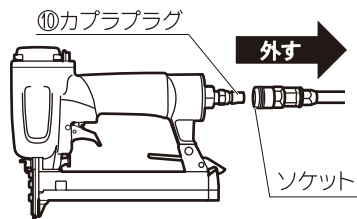
2 オイルを全体に行き渡らせる

P13



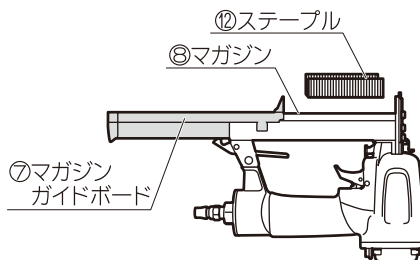
3 エアホースを外す

- 本機からエアホースを外してください。



4 ステープルを抜き取る

- マガジンからステープルを抜き取ってください。



ステープルをマガジンの中に放置しないでください。腐食や錆つきの原因となります。

5 ブローケースに収納する

- 使用後は、本機内部へゴミやホコリなどが入らないよう、ブローケースに収納してください。



次の場所には保管しないでください。

- ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- ・お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- ・直射日光の当たる場所

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



使用するにあたって

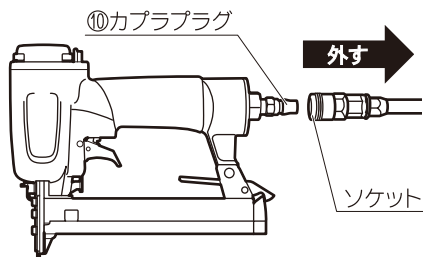
■ステープル詰まりの直し方

1 エアホースを外す

- エアホースを外します。

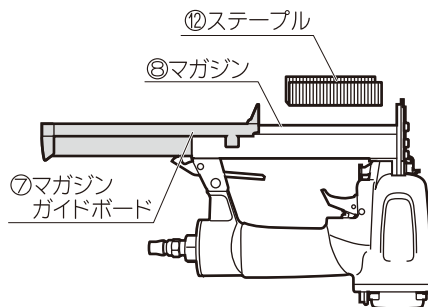


必ずエアホースを外してから作業してください。詰まりを直している最中に、不意に発射する恐れがあり、大変危険です。



2 詰まったステープルを取り除く

- マガジンボードをスライドさせ、ステープルを取り出します。
- 射出口の中に詰まっているステープルを取り除いてください。



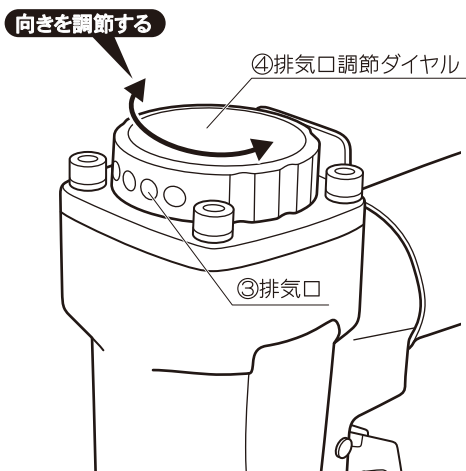
■排気口調節ダイヤルについて



排気口の方向を調節する際は、必ずエアホースを取り外してください。

本機は、エア排気の方向を調節することができます。

- 排気口調節ダイヤルを回して、作業の妨げにならない向きに調節してください。



各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



保守と点検

■作業後のお手入れ

1

エアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外してください。

2

本体やグリップの油汚れなどをきれいに拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。



- ・ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を傷めますので、おやめください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。

3

各部取付ねじのゆるみ、本体の破損などの点検を行ってください。

- 各部取付ねじを点検し、ゆるんでいたら、付属の六角棒レンチで締め直してください。
- 本体や付属品に破損が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。

■注油について

- 毎回の作業終了時に、本体のカプラプラグへ数滴注油し、不要な木材等に2～3回空打ちをして、オイルを本体内部全体に行き渡らせてください。 **P13**

■保管について

- 使用しない場合は、本機内部へゴミやホコリなどの侵入を防ぐため、ブローケースに収納してください。



- 次の場所には保管しないでください。
- ・軒先など雨がかったり、湿気のある所
 - ・お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
 - ・直射日光の当たる所



故障かな?と思ったら

● 次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
ステープルが 射出されない	①エアホースが接続されていない	①エアホースが確実に接続されているか確認してください。
	②エアホースの内径が小さすぎる	②内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。
	③エアホースが長すぎる	③エアホースを短くするか、径の大きいエアホースと交換してください。
	④ステープルが無くなった	④新しいステープルを装填してください。 P12 ➔
	⑤ステープルが確実に装填されていない	⑤もう一度ステープルを装填し直してください。 P12 ➔
	⑥ステープルが内部で詰まっている	⑥詰まりを取り除いてください。 P16 ➔
	⑦ステープルのサイズが合っていない	⑦指定サイズのステープルを使用してください。 P20 ➔
	⑧エアコンプレッサの使用空気圧力が低い	⑧ご使用のエアコンプレッサの空気圧力を0.48~0.69MPaの範囲内で調節してください。
ステープルの 打ち込み深さが 深すぎるまたは 浅すぎる	①エアコンプレッサの使用空気圧力が合っていない	①ご使用のエアコンプレッサの空気圧力を0.48~0.69MPaの範囲内で調節してください。
	②エアホースの内径が小さすぎる	②内径6.5mm以上のエアホースを使用してください。
	③エアホースが長すぎる	③エアホースを短くするか、径の大きいエアホースと交換してください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の
名称

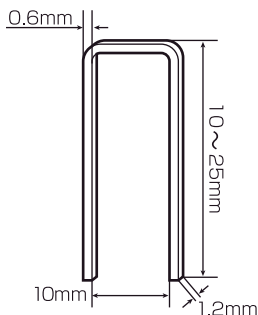
安全上の
ご注意

ご使用
前の
準備

使いかた

その他

使用可能
ステーブルサイズ



型 式	AT-1025PA
使用 圧 力 範 囲	0.48~0.69MPa
ステーブル装填数	100本
本 体 サ イ ズ	約240×60×180mm
本 体 質 量	約1.3kg
使 用 ホ ー ス	内径6.5mm以上
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> •本体……………1台 •ステーブル(肩幅10mm×脚長25mm)…100本 •オイルポット(潤滑油)……………1個 •六角棒レンチ(3mm・4mm)……………各1本 •専用ブローケース……………1個 •取扱説明書……………1冊
使 用 可 能 ステーブルサイズ	<ul style="list-style-type: none"> •肩幅 10mm •脚長 10~25mm •脚厚 0.6mm •脚幅 1.2mm <p>※上記サイズの範囲内であれば、市販品のステーブル(10Jタイプ)を使用できます。</p>

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	エアタッカ		お買い上げ日※	年 月 日
型 式	AT-1025PA		保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住 所 名 電 話 番 号
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>